

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和6 年 5 月 21 日	
熊本市長 大西 一史 殿	
提出者	
住 所 熊本市東区東町4丁目1-60	
氏 名 熊本市立熊本市民病院 熊本市病院事業管理者 水田 博志 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 096-365-1711	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	熊本市立熊本市民病院
事業場の所在地	熊本市東区東町4丁目1-60
計画期間	令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医療業 一般病院
② 事業の規模	病床数388床
③ 従業員数	815人 (令和5年4月1日現在)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 感染性廃棄物→収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し焼却→焼却残渣を埋立処分 ・ 燃えやすい廃油→収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し焼却→焼却残渣を埋立処分

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	排 出 量	164. 523 t	0. 54 t
	(これまでに実施した取組) ・医療廃棄物を感染性廃棄物と非感染性廃棄物（2分別）に分別することで特別管理産業廃棄物としての処理量を抑制した。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	排 出 量	164 t	0. 5 t
	(今後実施する予定の取組) ・感染性廃棄物については、「院内感染性廃棄物マニュアル」に従い適正な管理を行う。 ・その他の特別管理産業廃棄物については減量化を推進する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引き続き医療廃棄物を感染性廃棄物を非感染性廃棄物（2分別）に分別し、特別管理産業廃棄物としての処理量を抑制することに努める。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・引き続き「院内感染性廃棄物マニュアル」に従い、廃棄物の分別管理に努める。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 っ た 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 っ っ 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	全 処 理 委 託 量	164.523 t	0.54 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	164.523 t	0.54 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	0.54 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・引き続き委託基準に従って、必要な許可を持った特別管理産業廃棄物 処理業者に委託する。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油
	全 処 理 委 託 量	164 t	0.5 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	164 t	0.5 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	0.5 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	165.063 t	
	(今後実施する予定の取組等) 令和4年度は電子マニフェスト（JWNET）への加入済及び電子マニフェスト 対応処理業者と契約済。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物処理計画書内訳(前年度(令和5年度)実績)

別紙
(単位:トン)

特別管理産業廃棄物の種類	特別管理産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
感染性廃棄物	164.523	0	0	0	0	164.523	164.523	0	0	0
燃えやすい廃油	0.540	0	0	0	0	0.540	0.540	0.540	0	0
合 計	165.063					165.063	165.063	0.540		

特別管理産業廃棄物処理計画書内訳(今年度目標値)

別紙

(単位:トン)

特別管理産業廃棄物の種類	特別管理産業廃棄物の排出に関する事項	自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項		自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
	排出量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行う量	自ら中間処理により減量する量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
感染性廃棄物	164	0	0	0	0	164	164	0	0	0
燃えやすい廃油	0.5	0	0	0	0	0.5	0.5	0.5	0	0
										0
合 計	164.5					164.5	164.5	0.5		

廃棄物の処理に関する管理体制

別紙1

特別管理産業廃棄物管理責任者 熊本市民病院 病院長		
廃棄物処理管理	事務局 総務企画課 廃棄物処理委託契約担当	・廃棄物処理に関する検討(廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、廃棄物処理の管理・計画の検討) ・廃棄物処理計画の作成 ・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・委託契約の締結 ・マニフェストの交付・管理 ・処理業者、再生利用業者の調査、選定 ・監督官庁への各種報告等 ・その他産業廃棄物処理に関連する事項全般

管理体制図

